

2020年(令和2年)3月6日(金)

生産者と消費者がつながり双方豊かに

魅力ある地域づくり研究所

代表 可知祐一郎



愛知県豊田市のこの法人は、生産者と消費
中山間地域に位置 者がつながり双方が豊かに
するわずか なる「源流米ミネア
28戸の小さ な山村集落
は、「集落
の農地は自
分たちで守
る」との思
いから、2
011年12
月に集落営
農組織を設
立し、昨年
1月に法人化した。
農事組合法人ではな
く、全国でも異色の
一般社団法人を選択
した。それは、利益
を追求するのではな
く、山村集落を守る
思いを共有する人の
集まりだから。

山村集落を消滅の危機から救う

愛知・豊田市の集落営農組織

中山間地域では、
コスト低減を図っても通常 ためのモデルとなることを
の販売では赤字になる。そ 目指している。

「私たちが自給の
営みを続けるのは、
自分たちが育てたも
のを自ら収穫し、食
べるといふ、食の安
心と喜びに暮らしの
豊かさを感じている
から。同じ思いを持
ちながら、そのよう
な機会に恵まれてい
ない消費者はいるの
ではないか。そう考
えてたどりの着いたの
がこのプロジェクト」
と法人の代表は
語る。

源流米ミネアサヒCSAプロジェクト

稲井の里のメリット

- ・「農の営み」が続き、
農地が守られる
- ・集落が消滅の危
機から救われる
- ・「関係人口」が生
まれ、暮らしが
楽しくなる



新しい家族のメリット

- ・安全でおいしいお
米が確保できる
- ・地球や人に優しい
消費に貢献できる
- ・自然や人の温もり
を感じ、暮らしが
楽しくなる

親戚の米を
少し多めに
作るような
もの

少し横着な
「棚田オーナー」
のようなもの